



心に余裕くらいは持て！！

私は仕事柄、日本全国あちこちを飛び歩いている。ホテルに宿泊することも多々ある。クライアント企業の建物にお伺いすることも日常茶飯事である。

ホテルやクライアント企業の建物ではエレベータにはよく乗る機会があるのだが、そんな時すぐに「開」や「閉」のボタンを押す人と押さない人がいることに気づかされる。

少し前に有名な経営者が書かれた本を読んだのだが、その本には「細切れの時間を有効に活用すべきだ」ということで、電車に乗る時は降りる時の階段の位置や乗り換えのホームの位置を考えて乗るべきだとか、移動の細切れ時間でメールや連絡の処理をすべて済ませるべきだとか、信号待ちの時はどうするとか、色々と時間節約術に関することが書かれていた。

それはそれで「なるほど」とは思うのだが、片方では狭い日本そんなに急いでどこに行くという気持ちにもなる。

車を運転していても、無理をして追い抜いていく人がいるが、次の信号や料金所に差し掛かった時に、随分前に追い抜いて行った車がすぐ前に見えることがある。無理な運転をして数台の車を追い越してみても目的地に着く時間はそんなに差はないのだ。

エレベータに乗ったとたん、すぐに「開」や「閉」のボタンを押さずにいられない人は、車の運転で無理な追い越しをやっているようなものである。「開」や「閉」のボタンをこまめに押して一体どれだけの時間の節約になるというのだ。

もちろん、時間は有効に使うべきであるが、「心の余裕」まで無くしてはいけないということをお願いするのである。どんなに忙しくても心に余裕くらいは持っていただきたい。エレベータは黙って乗れば自然にドアは開いたり、閉まったりする。せめてそれを待つくらいのビジネスパーソンでありたい。

実際にそれを実行するだけで心に余裕が出てくるはずだ！！



